

2017年度 学校自己評価表

Osaka YMCA International School

2017年12月

I 学校教育目標

<p>1、本校は、英語を教育言語とする国際教育の必要性を有する生徒たちに、家庭と連携して適切な教育を提供するものである。</p> <p>2、本校は、グローバルな視野を育むための包括的な教育課程を提供する。</p> <p style="padding-left: 20px;">また、生徒たちが、教育活動において意欲的であることと、自らの学びと行動に対して責任意識を持つことを目標とする。</p>

II 重点目標

<p>1、中学部のカリキュラム・教育活動を更に充実させ、IB ディプロマプログラム（DP）を持つ高校課程の構築に目途を立てる。また、幼稚部・小学部のIB・PYPカリキュラムの実施状況を精査・改善する。</p> <p>2、特別な生徒対応、また EAL (=English as an Additional Language、旧 ESS=English Support Service) における生徒支援を充実させる。</p> <p>3、IB校として、より望ましい教育効果を上げるための教育環境・施設・機器／設備の充実を進める。</p> <p>4、保護者とのコミュニケーションを密にしながら支持・支援をつなぐことと、広汎かつ効果的な学校広報の確立をはかる。</p>
--

III 個別目標と評価

※ 評価基準 1 = 不十分 2 = 部分達成 3 = 達成

領域	評価項目	評価	達成状況	今後の改善
カリキュラム ・学習指導	・ 中学部教育活動の充実。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ MYP 経験、DP 導入経験を持つ中学部専従のカリキュラムコーディネータ（主任教員）を招聘した。 ・ 次年度より Canada、Alberta 州カリキュラム導入のため専門教員をカナダより招聘した。 ・ 2020 年に 10 年生以降の高校課程を開設することを保護者に発表できた。 ・ 中学部専従の音楽専門教員を着任させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Canada、Alberta 州カリキュラム導入校の認証を得る。 ・ 9 年生の WASC/IB 認証を得る。 ・ 10 年生以降、DP（高校課程）に繋がるより魅力的な学校作り。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ Kyoto International School, Marist Brothers International School など他校とのスポーツ交流実施。 ・ Singapore YMCA 中学校との相互訪問実施。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚部において教員指揮系統整える。 ・ 小学部指導体制の充実 ・ 小学・中学部のカリキュラム内容・評価の充実 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚部において単独の主任教員・主任補助教員を配置し、明確な指揮系統が確立できた。 ・ 幼稚部、中学部に独立して主任教員を配置することで、学年・生徒数の多い小学部の主任教員によるケアが手厚くなった。 ・ 幼稚部、小学部低学年専従の音楽・体育教員を置くことができた。 ・ 小学部で MAP(=Measures of Academic Progress)、中学部で ManageBac を導入し、カリキュラム・プランニングからテスト・評価までを最新の IB 方式で出来るようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ YMCA 内の幼児英語教育事業との連携 ・ 教員研修の更なる充実。
生徒・学習支援	・ E S S サポートの更新	2	・ E S S から EAL と名称・内容の更新ができ、無駄を省きながら最新のアプローチでサポートできるようにサービスを進化させた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ EAL 教員の増員 ・ WIDA の更なる活用。
	・ 家庭学習支援	2	・ 学校・家庭コミュニケーションソフトの SeeSaw を導入してビジュアルを駆使した即時の報告、教室・家庭間、教員・生徒・保護者間のコミュニケーションの充実がはかれた。	・ 多忙な保護者の学習支援への参加度を上げること。
学校生活 ・ 生活指導	・ IB learner profile (目指すべき学習者像) の浸透	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業・学校行事・家庭生活のあらゆる側面で learner profile を意識させることを通して生徒の自覚と自律を促すことができている。 ・ キーボード、パフォーマンスクラブなどの新クラブが導入できた。 	・ YMCA の理念と IB の Learner Profile を融合し、それらを踏まえた学習ができるように弛まず改善に努める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Child Protection Policy の策定 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内、家庭内での暴力や強要などから生徒たちを守るポリシーを明確に策定し、導入することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Behavior Policy を再考し、教員の指導力強化を図ること。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の立候補による生徒会が機能し、毎週の生徒集会での発言、クリスマス・グラム、YMCAチャリティーラン・YMCAクリスマス募金活動などで活躍できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会の自律的継続と学校の適切な支援。
PTA・保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の教育活動参加 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事での PTA の協力と保護者の活躍。古着販売やシリーズ化され、'Culturation'と名付けられた PTA の新しいファンドレイズの取り組みが素晴らしい。 ・ 社会見学での引率補助、寄付金集め、学校行事改善提案などで良い連携ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更なる情報提供と呼びかけにより、より多くの保護者に学校活動に参加していただくこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者への情報提供 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学保護者を対象とした年3回の「参加型カリキュラム説明会」実施。10月4日には、英語 DP のある高校課程へと続く学校の将来像を共有できた。 ・ 各クラス年3回の校長懇話会、学校ニュースレター発行。 ・ 学校ウェブサイト+Facebook への情報（各クラス+全校）提供。 ・ 生徒個別オンラインポートフォリオとして、幼稚部には最新のポートフォリオ・コミュニケーションツールである'Story Park'を、小学・中学部には SeeSaw を導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ上の各クラスページの充実と Facebook などの更なる活用。 ・ オンラインポートフォリオツールのより一層の活用。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティーや公立学校との連携を深める 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学部のコミュニティー・サービス授業の一環で、町会・地域活動協議会などに呼びかけ、生徒による英会話レッスンを始める。 ・ 一般に施設を開放して YMCA のサッカー・バスケットプログラムを提供できている。 ・ サタデースクール、インテンシブなどの英語プログラムの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連合会など他機関との交流を進める。 ・ 学校開排行事を増やすこと。

教育環境・施設	・設備・備品改善	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して実施されるIB発表会準備のため、2教室を1つにして、G5の教室を大教室へと改修した。 ・理科実験室内設備の充実。 ・図書室、音楽室内の図書・家具・収納スペースの充実を図り、より教育目的に適ったスペースを作った。 	・より教育活動をサポートできる設備・備品の確保に努める。
	・IT機器・アプリケーションの充実・活用	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間コミュニケーションツールとしてGoogleのHangoutsが導入され、活用されている。 ・簡易パソコンCromebookを導入し、5年生以上で1人1台、他学年もIT室以外に通常教室で複数のラップトップ設置が進む。 ・生徒個別オンラインポートフォリオの活用。 	・生徒のITリテラシーの充実に留意し、濫用することがないように指導する。
広報活動	・学校ホームページの改善	3	<ul style="list-style-type: none"> ・主にサタデー・インテンシブ用の別サイトが大きく改修され、見やすいものにできた。 ・また、フェイスブックで適宜情報発信できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校サイト、Facebookの更新頻度を上げる。 ・学校サイトを更に訴求力のあるものに更新する。
	・学外活動でのアピール	2	<ul style="list-style-type: none"> ・梅田スカイビルでクリスマス街頭募金活動に全学で参加。 ・鶴見緑地で開催された大阪YMCAチャリティーランに3チーム参加でき、しっかりと寄付金活動ができた。 ・中学部がSingapore YMCAとの連携で相互交流。 	・学外・海外での活動、YMCAの他部門との連携の機会を更に増やすこと。
	・国際機関・国際学校連盟などでの広報	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ACCJ（アメリカ商工会議所）イベント参加・機関誌広報掲載。 ・EARCOSやWASC、IB、JCIS、JASOとの連携や会議・研修参加を通じた広報ができた。 ・国内外のYMCAネットワークに連動した広報やアジア各国のYMCAと交流が持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関を更に増やしていくこと。 ・ファンドレイズ活動を更に活発にし、学校の認知の浸透に役立てる。

			<ul style="list-style-type: none">・全世界配布の「帰国便利帳」で帰国生の広報掲載。・ファンドレイズ活動を通じた広報。	
--	--	--	--	--